

2018 年度 事業報告

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までの事業年度における一般財団法人交通経済研究所（以下「当法人」という。）の事業活動について、次のとおり報告いたします。

I 事業概要

当法人は、当年度も交通社会の健全な発展に寄与することを目的として、交通経済・経営に関する民間の調査研究機関として長い経験と実績を有している点を最大限に活かしつつ、業務の柱である調査研究、情報サービス及び日本交通学会支援の 3 事業の充実・推進を図りました。

調査研究事業では、国内外の交通事業における現状と課題について、地域公共交通、訪日観光客及び諸外国の交通等のテーマについて調査研究を行いました。「研究報告会」においては、研究員が「欧州 3 か国（ドイツ、オーストリア、スイス）の公共交通の動向」をテーマに諸外国における地域公共交通等についての研究成果を発表するとともに、関西大学経済学部教授宇都宮浄人氏による「Quality of life を高める公共交通とは－欧州の事例を踏まえて－」と題しての特別講演を行いました。

「運輸と経済」フォーラムは、「平成を振り返る～交通と生活の 30 年～」と題し、平成時代の交通・生活の変化について、各分野の専門家に講演を頂くとともに、それらが互いにどのように影響しあったかのか振り返りつつ、新しい時代に向けた期待についてのトークセッションを行いました。

また、国内外の交通政策に係る研究成果を、交通関係研究報告会等を通じて広く社会に発表しました。

情報サービス事業では、多種多様な情報が氾濫する中、交通各分野に関する研究と実務の架け橋として、交通経済・経営に関する専門誌「運輸と経済」を毎月刊行したほか、会員向け情報誌「交通経済研究所 NEWS」等を頒布しました。

「運輸と経済」誌では、「『一帯一路』をどう読み解くか？」等をテーマとした特別号を発行するとともに、およそ 25 年ぶりに策定された港湾の中長期政策である「PORT2030」や、ますます多様化が進む社会を背景に交通事業者に対しても取組みが求められるダイバーシティなどを、特集のテーマとして取り上げました。

また、「交通経済研究所資料室」では、交通に関する専門図書館として図書・雑誌・資料等の充実を図りました。あわせて、詳しい知識を有する図書専門職員によるレファレンスサービスを会員向けに実施しました。

日本交通学会支援事業では、同学会の事務局として、理事会、評議員会、研究例会等の開催・運営、学術誌「交通学研究」の編集、会員管理や経理事務、学会ホームページの維持管理など、学会の運営・事業活動への支援を積極的に行いました。

組織運営面では、社会のニーズに対応し得る調査研究体制の整備を継続的に行い、業務の質の向上と効率化を図りました。

また、交通経済・経営に関する中長期的な課題の研究に対する高い専門知識や研究能力、さらに業務管理能力を兼ね備えた研究員及びこれらサポートする職員の成長を促すため、階層別、職能別研修をはじめ、資格取得、学会活動など自主的活動を積極的に推奨し人材の育成を図りました。

その他、情報システム関係の整備推進により情報セキュリティの強化を図りました。

II 活動実績

1. 調査研究事業

(1) 調査・研究の受託

都市鉄道における駅案内設備と掲出物の海外との比較、地方中枢都市圏輸送や並行在来線沿線地域の現状分析、法制度を活用した持続可能な地域公共交通の実現に関する事例研究、I o TやA Iを用いた顧客満足度を高める取り組みの調査及び鉄道マーケティング・アンケートの分析業務等計18件を受託しました。

(2) 当法人独自の調査・研究

① 中期課題の選定・研究

当法人として取り組む国内外の交通政策等に関する中期的課題を選定し、国内外の地域公共交通や鉄道整備・運営制度に関する研究を重点的テーマとして研究しました。

② 調査・研究の成果

国内外の交通に係る調査研究を行い、その成果を国土交通省や学会等主催の研究報告会や「運輸と経済」誌、交通新聞「交通経済研究所の窓」、その他の交通関係誌等を通じて発表しました。

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| ・交通関係学会・研究会等における発表 | 9件 |
| ・国際会議等における発表 | 1件 |
| ・月刊誌「運輸と経済」及び交通新聞「交通経済研究所の窓」等への執筆 | 32件 |

(3) 研究報告会・フォーラムの開催

① 第12回「運輸と経済」フォーラム

- | | |
|-------|-----------------|
| ア 開催日 | 2018年10月19日(金) |
| イ 会場 | ホテルメトロポリタンエドモント |

ウ テーマ 「平成を振り返る～交通と生活の30年～」

エ 講演

- ・「舟運から鉄道へー交通の移り変わりを説くー」

陣内 秀信 氏（法政大学名誉教授）

- ・「平成時代の交通を振り返る」

岩倉 成志 氏（芝浦工業大学工学部教授）

- ・「平成時代の交通と今後」

三浦 展 氏（カルチャースタディーズ研究所代表）

オ トークセッション

「ひとと交通で振り返る平成とこれから」

《コーディネーター》

羽藤 英二 氏（東京大学大学院工学系研究科教授）

《パネリスト》

岩倉 成志 氏

陣内 秀信 氏

三浦 展 氏

カ 参加者 約80名

② 「2018年度研究報告会（第17回）」

ア 開催日 2019年3月1日（金）

イ 会場 中央大学駿河台記念館

ウ 共通テーマ 「欧州3か国（ドイツ、オーストリア、スイス）の公共交通の動向」

エ 研究報告 3件

オ 特別講演 「Quality of Life を高める公共交通とはー欧州の事例を踏まえてー」 関西大学経済学部教授 宇都宮 浄人氏

カ 参加者 約100名

2. 情報サービス事業

(1) 「運輸と経済」の刊行・頒布

交通経済・経営に関する今日的・将来的課題を、各号の特集テーマとして掲載した交通経済・経営専門誌「運輸と経済」を毎月約2,750部（3月号は増刷）刊行しました。

特集したテーマは、次のとおりです。

2018年 4月号 交通の不思議と読み解き方ー航空編ー

2018年 5月号 自転車交通のこれから

2018年 6月号 移動のデザイン

2018年 7月号 公共事業評価スタートから20年ーこれまでとこれからー

(特別号)

2018年 8月号 交通と音楽

2018年 9月号 ダイバーシティと交通 ー殻を破るー

2018年10月号 海峡を越える ー四島がつながって30年ー

2018年11月号 港湾の中長期政策「PORT 2030」

2018年12月号 『一帯一路』をどう読み解くか? (特別号)

2019年 1月号 スポーツと交通

2019年 2月号 第三セクターのこれまでとこれから ー鉄道を中心にー

2019年 3月号 日本の「田園都市」創生から100年 ーその歴史的意味とこれからー

また、編集委員会を4回開催しました。

(2) 「交通経済研究所NEWS」等の刊行

会員向け情報誌「交通経済研究所NEWS」を年12回発行したほか、鉄道経営に係る情報誌を年24回発行しました。

(3) 交通経済研究所資料室の充実

交通経済・経営分野の専門図書室として、新刊書約880冊、雑誌等の定期刊行物約2,600点を受け入れ、年度末における蔵書数(図書)は約49,700冊です。

一般公開を行っている資料室の利用増進に向け、交通関係企業の社史の収集や鉄道関係図書の充実に努めました。

また、会員向けには、収集した書籍に関する情報を「蔵書オンラインサービス」を通じて提供しました。

さらに、公益財団法人交通協力会で編纂されている「鉄道150年史」について編纂業務に協力しました。

(4) レファレンスサービス

随時発生する多種多様な情報ニーズに迅速・適切に対処し、資料提供及びコピーサービス、リサーチサービスの情報サービスを行いました。なお、会員各社のレファレンスは98件、一般利用者は32名でした。

(5) その他

① 鉄道経営資料の管理業務の受託

引き続き、鉄道経営資料の管理業務を受託しました。

3. 日本交通学会支援事業

(1) 理事会、評議員会等の開催・運営

総会1回、理事会2回、評議員会1回、年報編集委員会5回の開催・運営を行い

ました。

(2) 研究報告会等の開催・運営

① 第77回研究報告会

- ・開催日 2018年10月6日(土)・7日(日)
- ・会場 青山学院大学
- ・概要 研究報告27件
- ・参加者 約170名

(3) 学術誌の編集

「交通学研究 2018年研究年報」 (学際領域としての交通研究)

(4) 会員管理その他

① 会員管理 (2019年3月31日現在)

- ・正会員 469名
- ・学生会員 4名
- ・特別会員 32団体

② 「ニューズレター」 年1回発行

③ 庶務・経理業務

④ 学会ホームページの維持管理

4. 組織運営

(1) 組織体制の整備

働き方改革に伴う労働法改正による義務化に対応すべく就業規則等の見直しを行いました。また、2020年度以降中小企業にも義務化される労働法改正に対応すべく、各種セミナー等に積極的に参加し、人事諸制度改正への検討に着手しました。

(2) 法人外との交流及び人材育成

① 人材育成

学会・各種セミナーへの参加を積極的に行ったほか、国内外研究機関との交流を通じて人的ネットワークの拡充に努めました。

② 法人外との交流

「運輸と経済」フォーラムのほかにも、国内外の研究者を招き、国内外の公共交通の動向について研究会を開催しました。

(3) ガバナンスの強化

一般財団法人としてガバナンスの強化を図るため、研修・説明会を通じ個人情報保護等に関し、引き続き職員に周知徹底を図りました。また、情報セキュリティの強化等に向け、情報システム体制の整備を行いました。

(4) 賛助会員数 (2019年3月31日現在)

・特別賛助会員 16 団体

・賛助会員 38 団体

(5) 常勤職員数 (2019 年 3 月 31 日現在)

・研究職員 18 名

・事務職員 16 名 (アルバイト職員 1 名、派遣職員 4 名含む)

計 34 名

Ⅲ 法人運営

1. 評議員及び役員 (2019 年 3 月 31 日現在 五十音順)

評議員	青 柳 俊 彦
評議員	泉 雅 文
評議員	磯 田 裕 治
評議員	植 木 義 晴
評議員	上 野 文 雄
評議員	北 村 隆 志
評議員	熊 谷 則 道
評議員	白 川 保 友
評議員	杉 山 武 彦
評議員	田 村 修 二
評議員	柘 植 康 英
評議員	富 田 哲 郎
評議員	中 村 弘 之
評議員	平 子 裕 志
評議員	福 本 啓 二
評議員	真 鍋 精 志

理事長 (代表理事) (常勤)	上 村 宗 弘
専務理事 (代表理事) (常勤)	成 田 博
理事 (常勤)	辻 村 博 則
理事	今 城 光 英
理事	川野邊 修
理事	巢 山 芳 樹
理事	高 橋 伸 夫
理事	武 市 信 彦
理事	堀 雅 通

理事	山内弘隆
監事	池田敏夫
監事	伊藤敦子

2. 評議員及び役員の変動

2018年 4月 30日	評議員	山田佳臣	辞任
	評議員	清野智	辞任
2018年 5月 1日	評議員	柘植康英	新任
	評議員	富田哲郎	新任
	評議員	磯田裕治	新任
2018年 6月 18日	評議員	金井耿	辞任
	監事	周藤晴子	辞任
	評議員	熊谷則道	再任
	評議員	齋藤峻彦	再任
	評議員	植木義晴	新任
	評議員	中村弘之	新任
	評議員	平子裕志	新任
	理事	上村宗弘	再任
	理事	今城光英	再任
	理事	巢山芳樹	再任
	理事	高橋伸夫	再任
	理事	堀雅通	再任
	理事	山内弘隆	再任
	理事	辻村博則	新任
	理事	川野邊修	新任
	監事	伊藤敦子	新任
	2018年 6月 20日	評議員	須田征男
2018年 6月 21日	評議員	白川保友	新任
2018年 9月 8日	評議員	齋藤峻彦	退任

3. 理事会の開催

① 2018年度第1回理事会（通常） 2018年5月23日

開催場所 当法人会議室

決議事項 第1号議案 2017年度事業報告及び附属明細書の承認の件
第2号議案 2017年度計算書類及び附属明細書の承認の件

第3号議案 2018年度第2回評議員会（定時）の日時及び場所並びに
目的事項決定の件

- 報告事項 1 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
2 資金運用の経過について
- ② 2018年度第2回理事会（臨時） 2018年6月8日
開催方法 決議の省略の方法
決議事項 2018年度第2回評議員会の目的事項である決議事項の追加の件
- ③ 2018年度第3回理事会（臨時） 2018年6月18日
開催方法 決議の省略の方法
決議事項 第1号議案 理事長の選定の件
第2号議案 常勤の理事の報酬の件
第3号議案 非業務執行理事との賠償責任限定に関する契約締結の件
- ④ 2018年度第4回理事会（通常） 2019年3月22日
開催場所 当法人会議室
決議事項 第1号議案 2019年度事業計画の件
第2号議案 2019年度収支予算の件
報告事項 1 代表理事の職務の執行の状況の報告
2 資金運用について

4. 評議員会の開催

- ① 2018年度第1回評議員会 2018年5月1日
開催方法 決議の省略の方法
決議事項 評議員選任の件
- ② 2018年度第2回評議員会 2018年6月18日
開催場所 明治記念館 末広の間
決議事項 第1号議案 2017年度計算書類及び附属明細書の承認の件
第2号議案 評議員の選任の件
第3号議案 役員を選任の件
報告事項 1 2017年度事業報告について
2 2018年度事業計画及び収支予算について

IV 事業報告の附属明細書

2018年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しませんので、附属明細書を作成しません。